

2019年10月03日

眼科に、過去に通院・入院された患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありませんし、患者さんが識別される情報の利用または他の研究機関への提供を停止します。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 人工知能を使った眼底写真による網膜疾患の視機能予測

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属]

香川大学医学部附属病院 眼科

病院助教 逢坂 理恵 (おおさか りえ)

(この研究は、広島大学を主幹機関とする多施設共同研究として行います。)

[研究の目的]

網膜疾患(網膜静脈閉塞症、網膜前膜、黄斑円孔、網膜剥離、糖尿病網膜症、網膜色素変性、加齢黄斑変性を含む網膜疾患)の患者さんの眼底写真やデータ等を用い、Deep Learning (機械学習アルゴリズムの一つ)を行います。それにより、画像処理技術によって視機能の予測、及び将来の視機能予測できる可能性があり、将来の網膜疾患の病態解明につながる基礎的な研究に繋がっていきたいと考えています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2014年4月から2024年8月までに下記共同研究機関を受診し、網膜疾患(網膜静脈閉塞症、網膜前膜、黄斑円孔、網膜剥離、糖尿病網膜症、網膜色素変性、加齢黄斑変性を含む網膜疾患：当院では網膜静脈閉塞症を担当)と診断された方

○利用する検体・診療情報

年齢、性別、左右、視力などの視機能、眼底写真、眼底自発蛍光、光干渉断層計による画像データ、及び眼底視野計、静的視野検査、動的視野検査によるデータ

[外部への検体・診療情報の提供]

患者氏名、生年月日(年齢は除く)などについては抽出せず、抽出データは匿名化します。匿名化後の情報を電子システムを使用して下記の研究組織へ提供し、対応表は各施設の個人情報管理者が適切に管理を行い、外部への提供は行いません。本研究では情報を扱う場合には個人情報とは無関係の記号を付して管理し、その番号を使用することで、個人が特定できないように匿名化しています。

〔研究組織〕

三栄会ツカザキ病院	永里大祐
徳島大学	仁木 昌徳
名古屋市立大学	安川 力
奈良県立医科大学	平井 宏昌
鹿児島大学	寺崎 寛人
久留米大学	岡 龍彦
香川大学	逢坂 理恵
京都大学	村岡 勇貴
千葉大学	三浦 玄
神戸アイセンター病院	前田 忠郎

〔研究代表者〕

広島大学 医療のためのテクノロジーとデザインシンキング (寄附講座) 教授
ツカザキ病院 眼科主任部長
田淵 仁志

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

〔連絡先・相談窓口〕

香川県木田郡三木町池戸 1750-1
香川大学医学部附属病院眼科 担当医師 逢坂理恵
電話 087-898-5111 FAX 087-891-2212